

【水俣に学ぶ肥後っ子教室 10月12日】

楽しかった「あしきた青少年の家」を後にし、2日目は、水俣市立水俣病資料館・国立水俣病情報センター、熊本県環境センターを訪問し、環境学習・展示見学や語り部の方からの講和を通し、環境保全や環境問題の解決について勉強しました。

「ごみと循環型社会」をテーマにした講話では、視覚に訴える資料と身近な問題を中心に据えた内容で、とても分かりやすく、子どもたちの心に残る学習ができました。

また、水俣病については、社会科で公害について勉強していることもあり、語り部の方の話に真剣に耳を傾け、正しく理解することの大切さや、差別・偏見について深く考えるきっかけとなりました。

学校生活に戻った子どもたちからは、節水や節電に心がける姿が見られ、本校、環境委員会の取り組みに対しても理解や協力への意識が高まった様子でした。



【心に残ったゴミ問題学習と水俣病学習】 5年2組 小川 舞

10月12日、私たち5年生は環境センターでゴミ問題学習と水俣病学習をしました。まず、ゴミ問題についてお話を聞かせてもらいました。今、最も深刻なのは地球温暖化だそうです。ゴミの量は熊本県民1人1日あたり868グラムも出していることが分かって、私はゴミを埋める場所がなくなってしまうと思いました。でも、そのゴミ問題を解決する方法もあります。3Rです。「リユース・リサイクル・リデュース」の3つを一人ひとりが意識し、実行していけば、私たちの社会は、もっともっと豊かになると思います。

次に水俣病について学習しました。川本さんから、子どもたちの体験についてお話ししていただきました。「水俣病は人権にかかわる大きな問題だ。」この言葉が、強く心に残りました。どうして、工場は素直に償わなかったのか。私は、人にあやまるということがどんなに大切か分かりました。川本さんは勇気を持つことが大切だと私たちに教えてくださいました。

これからは環境のことをこれまで以上に考え、社会の一員として生きていきたいです。

5年生 社会科学習で『芦北・水俣』へ

【集団宿泊教室 10月11日～12日】

10月11日、楽しみにしていた集団宿泊教室の日がやってきました。早朝の集合で眠そうな子もいましたが、児童47人、引率5人で目的地「あしきた青少年の家」に出発しました。

到着後、入所式、オリエンテーションを行い、メインイベントの一つペーロン艇漕艇。ところが、強風の影響で実施できず、残念ながらウォークラリーに変更になりました。その後も、ビンゴオリエンテーリングや、ナイトゲームなどを行い、美しい自然の中での体験を楽しく学ぶことができました。

今回の宿泊教室では、団体生活や集団行動において協力することの大切さや、難しさを体験することができ、子どもたちも成長してくれたと思います。



【あしきた青少年の家の思い出】 5年1組 小野 悠希

10月11、12日に集団宿泊がありました。私たちが宿泊したのは、「あしきた青少年の家」でした。最初に入所式があり、所内の説明や約束などが話されました。その後ペーロン船に乗るはずでしたが、強風が吹いて波が高かったので乗れませんでした。一番楽しみにしていた活動だったのでとても残念でした。かわりに砂浜で砂山を作ったり、貝拾いをしました。意外と楽しく、みんな夢中になりました。施設内には食堂があり、そこでご飯を食べました。自分でよそってみんなで食べるのでとてもおいしく感じました。

夜には、ナイトゲームがありました。外を歩いて机に書いてあることをするというルールでした。とても怖かったので、先生のところに1回もどってしまいましたが、ゴールできたのでよかったです。帰る準備をした後、フォトフレーム作りをしました。砂浜で拾った貝を使って作るものでしたが、あまり上手にできませんでした。しかし、とてもいい思い出ができました。これからもみんなでたくさんいい思い出を作っていきたいと思いました。